97mm

手回し充電ラジオライト JTL-23

CODE：
サイズ：仕上り100×H210mm（A4三ツ折）
材　質：上質紙四六判55kg（64g/㎡）
刷　色：1C／1C（PANTONE280U）

PANTONE 280

Front

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料修理致します。お買い上げの販売店にご依頼ください。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。
3. 保証内容は無料修理（製品に限る）のみとさせて頂きます。その他の保証は致しかねます。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   ②お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
   ③火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
   ④納品後の移動、輸送又は什器備品等との接触による故障及び損傷
   ⑤本書の提示がない場合
   ⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効となります。
6. 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

お手入れのしかた

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどいときは布に水で薄めた中性洗剤を少しつけて拭き、あとは乾拭きしてください。
- 濡れているときは乾いた布でよく拭いてください。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどは使わないでください。

手回し充電ラジオライト　JTL-23　保証書

本書はお買い上げ日から下記期間中に故障が発生した場合には、
左記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※ 年　月　日	保証期間 お買い上げ日より：1年
お客様	ご芳名
	ご住所 〒 TEL（　　）　-
販売店 ※	住所・店名 電話

当商品の保証書にご記入されたお客様の個人情報は、商品の修理・交換の商品発送のみに使用し、それ以外に使用したり第三者に提供することは一切ございません。

販売店さまへ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

アイリスオーヤマ株式会社
〒980-8510 仙台市青葉区五橋２丁目１２番１号
ホームページ http://www.irisohyama.co.jp/
お問い合わせはお気軽にアイリスコールに
アイリスコール 受付時間 9:00～17:00
0120-211-299

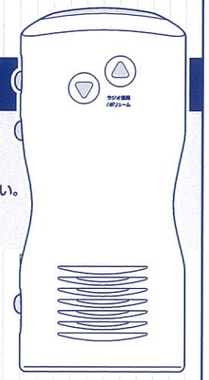
250612-024-MOT

手回し充電ラジオライト JTL-23

取扱説明書

災害対策 SECURITY & SAFETY

お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、取扱説明書は保証書とともに大切に保管してください。



製品仕様 ※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

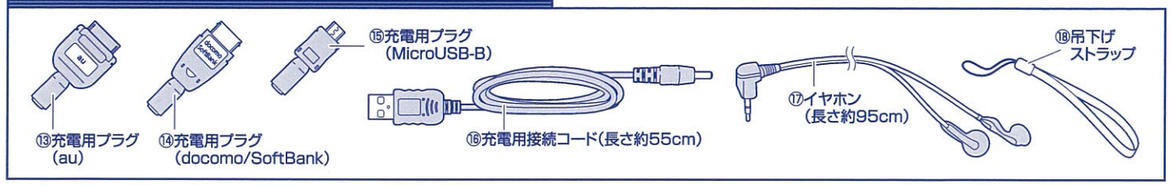
- 寸法：幅約5.9×奥行約4.9×高さ約13.1cm
- 重量：約185g
- 内蔵電池：リチウムイオンポリマー電池
  - ・電池容量：450mAh
  - ・定格出力：3.7V/500mA
  - ・最大出力：1.85W
- 手回し充電（ダイナモ）
  - ・定格出力：4.2V/500mA
  - ・最大出力：2.1W
- ●ラジオ：AM/FM
- LEDライト：白色3灯
- ●緊急用サイレン

MADE IN CHINA

携帯電話機・スマートフォン充電時の注意

- 携帯電話機・スマートフォンへの充電は、緊急用としてご使用ください。
- 過充電となるおそれがありますので、携帯電話機・スマートフォンの電池残量が十分な場合には、本製品を使用しないでください。
- 携帯電話機は、本製品の使用に関わらず何らかの原因により電話帳などの保存メモリーの内容が突然消えてしまう場合があります。大事な情報はあらかじめバックアップされることを強くお奨めします。なお本製品のご使用により、携帯電話機・スマートフォンが通話・通信できなくなったり、各種メモリーなどの消失がございましても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 充電開始直後に「警告」や「エラー」、「充電を止めてください」などと表示された場合は、すぐに充電を止めてください。故障の原因となります。
- 本製品では、電源が入らないほどバッテリーが消耗した携帯電話機・スマートフォンには充電できない場合があります。その場合にはお手持ちの携帯電話機・スマートフォン純正の充電器をご使用ください。

付属品



本製品の特徴

本製品はハンドルを回すことにより、発電をおこない、内蔵電池に蓄電します。
1台で、AM/FMラジオ、LEDライト（懐中電灯）、緊急用サイレン、携帯電話機（スマートフォン）充電機能の4つの機能を備えています。

■連続充電時間：3分間／約300回とした場合の使用可能時間目安

機能	LEDライト	携帯電話通話時間	スマートフォン通話時間	ラジオ（イヤホン使用時）	緊急用サイレン
連続使用可能時間目安	約30分	最大約5分 *1	最大約3分 *1	約7分（約30分）	約5分

■内蔵バッテリーフル充電時の使用可能時間目安

機能	LEDライト	携帯電話通話時間	スマートフォン通話時間	ラジオ（イヤホン使用時）	緊急用サイレン
連続使用可能時間目安	約5時間	最大約80分 *1	最大約1時間 *1	約4時間（約10時間）	約4.5時間

※充電時間・使用時間は目安であり、使用状況（発電時の回転スピードや電池の残量など）により異なります。
＊1 携帯電話、スマートフォンの通話時間は、機種や電波状況、使用環境により異なります。

使用上の注意

⚠警告　死亡・けが・感電・火災のおそれあり

禁止
- 本製品は防水仕様ではありません。雨や水などに濡らさないでください。また、湿気の多い場所、高温、低温になる所での使用、保管は避けてください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因になります。
- 本製品は精密な電子部品で構成されています。本体を落としたり、強い衝撃を与えたり、分解したりしないでください。故障の原因になります。
- ライトを目に近づけて点灯させないでください。視力低下や目に障害が残る可能性があります。また、目がくらんだり、驚いたりして思わぬケガや事故などの原因になります。

必ず実施
- 内蔵された充電池から漏れた液体が皮膚や服に付着した場合はすぐに水で洗ってください。また、万が一目や口に入った場合は、すぐに流水で洗浄し、医師に相談してください。

⚠注意　機器の故障・破損のおそれあり

禁止
- 本製品で乾電池や指定品以外の充電池を充電することはできません。無理に充電しますと電池や本製品が破損するおそれがあります。

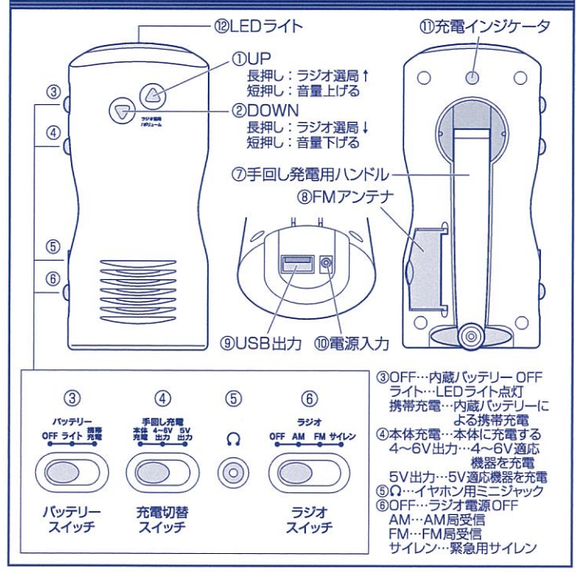
必ず実施
- 破損や、内蔵充電池の液漏れ、その他の異変があった場合は、直ちにご使用を中止してください。
- ご使用にならなくても定期的（約6カ月に1回）に充電してください。
- お子様の手の届かない場所に保管していたずらに注意してください。お子様がご使用になる際には必ず大人の目の届く場所でご使用ください。思わぬケガや事故の原因になります。
- LEDには明るさや色にバラつきがでることがあります。予めご了承ください。

97mm

PANTONE 280

Reverse

各部の名称



ラジオ・緊急用サイレン・トーチライト使用方法

■AM/FMラジオ

1. ⑥ラジオスイッチを［AM］または［FM］に合わせてください。
2. ①UPと②DOWNボタンで選局（自動選局）してください。

イヤホンを使用すると、スピーカーを使う場合よりバッテリーの消耗を抑えられます。

●FMが受信しにくい場合は、⑧FMアンテナのフタを開け、アンテナコードを引き出してご使用ください。
※天候・電波状況・場所によって受信しにくい場合があります。
●AMラジオを受信する際は横置きでご使用ください。受信感度が上がる場合があります。

AMラジオ受信機
周波数：
530～1650kHz
FMラジオ受信機
周波数：
76～90MHz

■緊急用サイレン ⚠ 救助を求めたり、危険を知らせる際にご使用ください。

⑥ラジオスイッチを［サイレン］に合わせてください。
※イヤホンは外してください。
※緊急時以外にはご使用にならないでください。不意な音量に驚いたりして思わぬケガや事故などの原因になります。
※ラジオやライトを使用されている場合には、サイレンは使用できません。

■LEDライト（懐中電灯）

③バッテリースイッチを［ライト］に合わせてください。

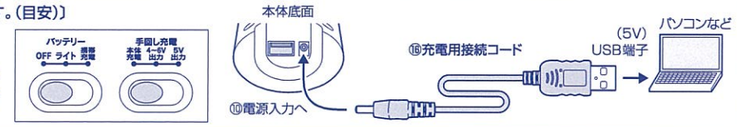
本体（内蔵バッテリー）への充電方法

■手回し発電による充電〔約100分でフル充電になります。（目安）〕

1. ③バッテリースイッチを［OFF］にしてください。
2. ④充電切替スイッチを［本体充電］にしてください。
3. ⑦手回し発電用ハンドルを引き出し、ツマミを持って回すと、本体内蔵バッテリーへ充電を開始します。⑪充電インジケータが点灯していることを確認してください。
   ●ハンドルの回転方向は時計回り、反時計回りのどちらでもかまいません。
   ●ハンドルの回転速度は、1分間に100～120回のペースが最適です。
   （速く回しても、より多くの発電ができるとは限りません。リズム良く一定のスピードで回してください。）
   ●ハンドルが軽く回る時は、充電されていません。フル充電されているか、バッテリースイッチを［OFF］にしていない可能性があります。
4. 充電が終わったら、ハンドルを元のように収納してください。
   ●内蔵バッテリーの消耗を最小限にとどめるために、使用していないスイッチを切っておくことをおすすめします。

■外部電源から充電〔約80分でフル充電になります。（目安）〕

1. ③バッテリースイッチを［OFF］にしてください。
2. ④充電切替スイッチを［本体充電］にしてください。
3. 付属の⑯充電用接続コードを⑩電源入力に接続し、パソコンのUSBポートなど5Vの電気を供給するUSB端子と接続してください。



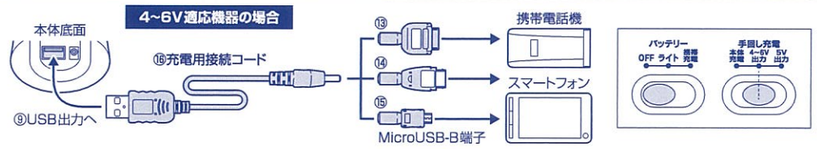
携帯電話機・スマートフォン等充電機能使用方法

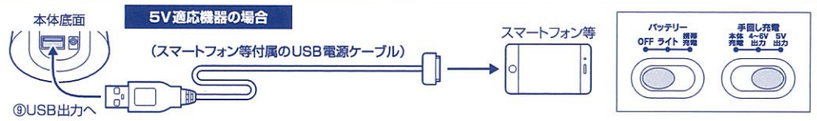
日本国内で市販されている一部の機種では、携帯電話・スマートフォンの仕様により充電ができない場合があります。あらかじめご了承ください。

本製品は手回し発電または本体内蔵バッテリーからの電気の供給によって、非常時または緊急時の補助的に、各社携帯電話機・スマートフォンに充電することができます。日常の充電には適していませんので、緊急時以外はお手持ちの携帯電話機・スマートフォン純正の充電器をお使いください。

■手回しによる携帯電話機・スマートフォン等への充電

1. ③バッテリースイッチを［OFF］にしてください。
2. 付属の⑯充電用接続コードと、お手持ちの携帯電話機・スマートフォンに合った⑬～⑮充電用プラグを用い、携帯電話機・スマートフォンと本製品を図のように接続してください。
   ●⑯充電用接続コードと⑬～⑮充電用プラグは確実に差し込んでください。不完全に差し込まれた状態では充電できない場合があります。
   ※携帯電話機の機種によっては、充電用プラグの差し込む方向が表裏逆になる場合があります。充電用プラグを携帯電話機に装着する際には、プラグの差し込み方向にご注意ください。無理に挿入すると電話機の破損や故障などの原因になります。



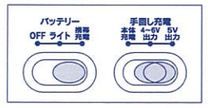


3. ④充電切替スイッチを機器に合わせて［4～6V出力］または［5V出力］にしてください。
4. 「本体（内蔵バッテリー）充電方法」の**3**を参照し、手回し充電（発電）をおこなってください。
5. ハンドルを回すと携帯電話機等が充電中の状態になります。
   ●ハンドルが軽く回る時は、フル充電されているか、スイッチが適切な位置でない可能性があります。
   ※携帯電話機等への充電中は、本体内蔵バッテリーへは充電されません。
   ※スマートフォン等の電池残量が0の場合、起ち上がりまでに時間が掛かります。⑪充電インジケーターが点灯していれば充電はされています。
6. 充電が終わったら、携帯電話機・スマートフォン等から充電用プラグ・充電用接続コードを外してください。

■本体内蔵バッテリーから携帯電話機・スマートフォン等への充電

手回し充電用ハンドルで充電できない場合でも、本体内蔵バッテリーから、携帯電話機等に充電することができます。

1. 手回しによる充電と同様に③バッテリースイッチ、⑥ラジオスイッチを［OFF］にして、本体と携帯電話機・スマートフォン等を接続してください。
2. ④充電切替スイッチを［4～6V出力］または［5V出力］にしてください。
3. ③バッテリースイッチを［携帯充電］にすると、本体内蔵バッテリーから、携帯電話機・スマートフォン等へ充電を開始します。



4. 充電が終わったら、携帯電話機・スマートフォン等から充電用プラグ・充電用接続コードを外してください。